

ルコゴ・カヒュンバ・ファラジャ・ジョザファト (ルコゴ)

中央アフリカペンテコステ教会コミュニティ フヌ・ヌル
コンゴ民主共和国、南キヴ州 ブカヴ

民族 / 部族: コンゴ
母語: スワヒリ語
宗教: キリスト教
職業: ボランティア



仕事について:

「アジア学院のプログラムを修了した暁には、送り出し団体と協働して、コミュニティに前向きな変化をもたらし、人々の幸福に貢献できるような、さまざまな意義のある社会プロジェクトを推進できるようになりたいと思っています。」

ルコゴ・カヒュンバ・ファラジャ・ジョザファトは、コンゴ民主共和国の南キヴ州ブカヴ出身で、自身の所属する中央アフリカペンテコステ教会のコミュニティ、フヌ・ヌルで長年ボランティアをしています。大学では栄養科学を専攻し、地元の女性や若者に健康的な食事について教育するプロジェクトに携わってきました。コミュニティが直面している課題としては、貧困、若者の失業、識字率の低さなどがあります。さらに、長年にわたって武力紛争に見舞われてきたため、住民の移住が進み、地元の民兵への強制徴用が行われています。コミュニティの資源は、基本的なニーズを満たすのに十分とは言えませんが、彼は、社会から疎外された人々を支援する教会の努力を誇りに思っています。

ルコゴはアジア学院で、小児栄養失調や、若者との活動に関する知識を分かち合うことを楽しみにしています。彼はリーダーシップ・スキル、持続可能な農業、紛争解決を学び、コミュニティの平和構築に貢献したいと考えています。農業指導者になり、食品工場を運営することも目指しています。

送り出し団体について:

中央アフリカペンテコステ教会コミュニティ フヌ・ヌル(CEPAC FUNU NURU)はコンゴ民主共和国のブカヴにあるペンテコステ派の教会です。教会活動だけでなく、健康、栄養、農業、起業家教育などの事業を通して、周辺地域の人々の生活を変えることを目指しています。同団体は、栄養不良との闘い、種子バンクの設立、紛争解決トレーニングの提供などをめざし、農業とリーダーシップ研修プログラムのために5ヘクタールの土地を購入する予定です。教会はルコゴが帰国したら、別のアジア学院卒業生のスタッフと共に、農業事業の講師や動員者になってほしいと期待しています。

農村リーダーたちについてもっと知りたい方はこちら:

[今年度の学生 - アジア学院 https://ari.ac.jp/thisyearsparticipants/](https://ari.ac.jp/thisyearsparticipants/)